

平成28年度事業計画

(期日：平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成28年3月12日(土)

公益財団法人 日本レスリング協会

平成28年度事業計画

「方針」

公益財団法人日本レスリング協会の定款に定める目的を達成するため、以下の諸事業を実施する。特に、本年開催の2016年リオデジャネイロ五輪大会での金メダル獲得に向けては、協会関係者が一丸となり「選手強化」を主軸とした運営を図っていく。また、2020年東京五輪大会に向けては、国民の皆様の期待に応えるため、10個の金メダル獲得を目指すこととする。

このため、本年度は次の目標を掲げ、日本レスリングの伝統を継承していきたい。

「目標」

1. 2016年リオデジャネイロ五輪の出場枠獲得および本大会における金メダル獲得。
2. 2016年リオデジャネイロ五輪に向けての徹底した強化指導体制の確立。
3. 2020年東京五輪に向けてのシニア・ジュニア選手（ターゲット選手）の強化育成と一貫指導体制の確立。
4. 2016年からの国民体育大会における女子レスリング導入に伴う選手の育成。
5. レスリング界における暴力行為等及びハラスメント根絶の徹底。
6. 日本レスリング協会アンチ・ドーピング規定の遵守。
7. 選手育成に向けての公認スポーツ指導者（レスリング指導者）の養成と推進。

1. 選手の育成・強化を図る事業

(1) 国際大会に選手団を派遣する。

【シニア選手団派遣事業】

- ① リオデジャネイロ五輪大会（ブラジル・リオデジャネイロ）において金メダル獲得を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ② リオデジャネイロ五輪世界予選第1戦（モンゴル・ウランバートル）
リオデジャネイロ五輪世界予選第2戦（トルコ・イスタンブール）
出場枠を確保できていない階級については、各予選会に選手を派遣し、五輪出場枠獲得を目指す。
- ③ 2016年女子ワールドカップ（場所未定）に選手を派遣し、団体優勝を目指す。
- ④ 2016年世界大学選手権大会（トルコ／チョルム）に選手を派遣し、金メダル獲得を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ⑤ ゴールデングランプリ決勝大会（アゼルバイジャン／バクー）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ⑥ その他国際大会
 - ア. ヤリギン国際大会（ロシア／クラスノヤルスク）
 - イ. マケドニア国際大会（マケドニア／シュティップ）
 - ウ. ピトラシンスキー国際大会（ポーランド／ワルシャワ）
 - エ. ジオウルコスキー国際大会（ポーランド／ワルシャワ）
 - オ. ハンガリーグランプリ（ハンガリー／ソンバトヘイ）
 - カ. ビルファーレル国際大会（米国／ニューヨーク）
 - キ. クリッパンレディースオープン大会（スウェーデン／クリッパン）
 - ク. デーブシュルツ国際大会（米国／コロライドスプリングス）

【ジュニア・カデット選手団派遣事業】

- ① 2016年ジュニア世界選手権大会（フランス／マコン）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）

- ② 2016年ジュニアアジア選手権大会（フィリピン／マニラ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ③ 2016年カデット世界選手権大会（ジョージア／トビリシ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ④ 2016年カデットアジア選手権大会（台湾／台中）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す。（フリー・グレコ・女子）
- ⑤ クリッパン国際大会（スウェーデン／クリッパン）に選手を派遣し、メダルの獲得を目指す。（女子）

【リオデジャネイロ五輪大会支援コーチ・パートナー派遣事業】

リオデジャネイロ五輪大会に支援コーチおよびパートナーを派遣し、五輪選手団の金メダル獲得に強力支援する。

【ベテランズ大会派遣事業】

2016年ベテランズ世界選手権大会フリースタイル（ポーランド／ワルシャワ）・グレコローマンスタイル（フィンランド／セイナヨキ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指すとともに国際交流を推進する。

【その他の格闘競技大会派遣事業】

- ① 2016世界グラップリング選手権大会（ベラルーシ）に選手を派遣する。
- ② 2016年世界柔術選手権大会（ポーランド）に選手を派遣する。
- ③ 2016年ジュニア世界クラッシュ選手権大会（インド）に選手を派遣する。
- ④ 第5回アジア・ビーチゲームズ（ベトナム）に選手を派遣する。
（ビーチレスリング・サンボ・柔術・クラッシュ・ブンチャクシラット・ムイタイ）

（2）国際事業の実施

海外のチームを招待し、合同強化合宿を実施し競技力の向上を図る。

- ① ブラジルオリンピック代表選手（女子）との強化合宿

(3) 選手強化合宿事業を実施し、競技力の向上を図る。

① ナショナルチームの国内強化合宿

リオデジャネイロ五輪大会及び国際大会等の日本代表選手の強化を図るため、国内強化合宿を実施する。(男子フリー11回・グレコ16回・女子12回)

併せて、2020年東京五輪の対策ターゲット選手の強化合宿を実施する。

② ナショナルチームの海外強化合宿

ア. グレコ海外遠征(ハンガリー・ポーランド)海外合宿及び国際大会に参加する。

イ. フリー海外遠征(ロシア・モンゴル)海外合宿及び国際大会に参加する。

ウ. 女子海外遠征(ロシア・モンゴル)海外合宿及び国際大会に参加する。

(4) ジュニア・カデット選手の強化合宿事業を実施し、競技力の向上を図る。

① 大学生の国際競技力強化のための国内外強化合宿の実施

② NTSブロック研修会の開催(中学生も含む)

③ NTS中央研修会の開催(男女)

④ タレント発掘・育成コンソーシアム事業のU-12・U-15キャンプの実施

⑤ 中学生(男子)強化合宿の実施

(5) JOC委託事業のナショナルコーチ等並びに専任コーチングディレクターを配置し、

トップレベルの選手並びにターゲット選手・エリート選手の強化育成を図る。

① ナショナルコーチ

ア. 柴和人氏(ナショナルコーチ)

イ. 笹本睦氏(アシスタントナショナルコーチ)

② 専任コーチングディレクター トップ(3名)

ア. 木名瀬重夫氏(女子レスリング)

イ. 江藤正基氏(JOCエリートアカデミー)

ウ. 松永共広氏(フリースタイル)

③ 専任コーチングディレクター ジュニア強化コーチ（3名）

- ア. 小幡 邦彦氏（中央担当）
- イ. 原 喜彦氏（ブロック担当）
- ウ. 吉村 祥子氏（女子担当）

④ NTC専任コーチ（1名）

- ア. 関 貴史氏（NTC担当）

（6）2020年ターゲットエイジ育成強化プロジェクト「タレント発掘・育成コンソーシアム」事業を実施し、2020年東京五輪におけるメダル獲得とその後に向けて、永続的に発掘・育成・強化システム構築事業を目指す。

（7）JOCスポーツ指導者海外研修員の派遣

スポーツ指導者海外研修員として海外に派遣し、海外の選手強化対策等について調査研究し将来の我が国のレスリング界を担う指導者として育成する。

① スポーツ指導者海外研修員 長期派遣

- 米 満 達 弘 氏（ロンドン五輪金メダリスト）
- 平成29年6月31日まで（米 国）

（8）海外研さん活動の実施

JOCより認定された特別強化指定選手及びその指導者を海外に派遣し、競技力の向上を図る。

（9）海外情報収集等のための派遣

- ① 世界レスリング連盟（UWW）の主催するコーチクリニックに強化コーチ及び審判クリニックに国際審判員と関係者を派遣する。
- ② 海外情報収集のため、ヨーロッパ選手権大会等に情報収集員（強化コーチ）を派遣する。

(10) 世界レスリング連盟の主催する大会への帯同審判員の派遣

世界選手権大会・アジア選手権大会及び国際大会等に帯同審判員を派遣し、審判員の技術向上を図る。

(11) JOC能力育成教育

特別強化指定選手であった選手の中から、教育機関に入学等を予定している者を対象として、将来に向けて職業や実生活に必要な知識や能力を育成する。

(12) JOCエリートアカデミー事業

優れた素質を有する選手を強化育成し、将来オリンピック競技大会を始め、国際大会等で活躍できる選手を育成する。

平成28年度JOCエリートアカデミー生 男子5名・女子3名 計8名

(13) マルチサポート事業アスリート支援

オリンピック競技大会を目指すトップレベル選手に対し、多方面から専門的かつ高度な支援を受けて実施する。このため、文部科学省から委託された JISS 及び筑波大学との連携を密にして支援体制の確立を図る。

① アスリート支援

ア. 映像の撮影及び分析 イ. フィットネスコーチ ウ. 栄養管理
エ. マネジメント支援 オ. 情報収集・分析・戦略

② 競技用具研究開発

ア. レスリングシューズ・シングレット等の研究開発（研究開発メーカー：アシックスグループ）
イ. トレーニング器具の研究開発（研究開発メーカー：ニシスポーツ）

2. レスリングの普及・発展のための事業を実施する。

(1) 協会主催大会事業

- | | |
|----------------------|------------|
| ① 天皇杯全日本レスリング選手権大会 | 国立代々木第2体育館 |
| ② 明治杯全日本選抜レスリング選手権大会 | 国立代々木第2体育館 |

- | | |
|-------------------------------|------------|
| ③ ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会 | 駒沢体育館 |
| ④ 71回国民体育大会レスリング競技会（少年・成年・女子） | 宮古市民総合体育館 |
| ⑤ 内閣総理大臣杯 全日本大学レスリング選手権大会 | 愛媛県宇和島市 |
| ⑥ JOC杯ジュニア全日本レスリング選手権大会 | 横浜市文化体育館 |
| ⑦ 風間杯全国高等学校選抜レスリング大会 | 新潟市体育館 |
| ⑧ 全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会 | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑨ 沼尻杯全国中学校レスリング選手権大会 | 水戸市立水府体育館 |
| ⑩ 全国少年少女レスリング選手権大会 | 国立代々木第1体育館 |
| ⑪ インターハイ（女子レスリングの部） | 東広島運動公園体育館 |
| ⑫ ビーチレスリング沖縄大会 | 沖縄県豊見城 |

(2) 国際交流の実施（ジュニア）

- | | |
|----------------|-------------|
| ① 日米高校交流 | (米国遠征・国内受入) |
| ② 日韓ジュニアスポーツ交流 | (韓国遠征・国内受入) |
| ③ 日韓中学生交流 | (韓国遠征) |

(3) 指導者講習会（公認スポーツ指導者資格）

公認レスリング指導者及び公認レスリングコーチの講習会を実施し、地域スポーツクラブ等において、初心者や子供達を対象にレスリング競技の基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。併せて、国民体育大会における監督への公認指導員の資格を習得させる。

(4) ホームページによる主要大会の動画及びデータベース構築の充実

日本のトップレベルの試合（国内外）の映像を全国のレスリング選手・指導者・ファン関係者への提供により、レスリングの強化と普及を推進する。また、本協会の記録を、報道を含めてだれもが簡単に検索するため、データベース構築の充実を図る。

3. その他定款の目的・事業を達成するために次の事業を実施する。

- (1) 2020年開催の東京オリンピック大会に向けては、組織委員会にレスリング競技における「スポーツマネージャー」を協会から派遣し、同委員会と緊密に連携を取り競技運営等の業務及び準備活動を積極的に行う。
- (2) レスリング指導者における体罰・暴力行為等及びハラスメントの防止対策に向けては、指導体制の徹底を図る。
- (3) ナショナルトレーニングシステム（NTS）事業の実施に向けては、各ブロック研修及び中央研修会においては、一貫指導体制の充実を図る。
- (4) アンチ・ドーピング事業の推進を図る。
- (5) 国際ルールの改正に伴い、審判講習会を積極的に実施し、審判技術の一層の向上を図る。
- (6) 選手強化のため、味の素ナショナルトレーニングセンター及び十日町市桜花レスリング道場の強化拠点施設を有効使用する。
- (7) 日本オリンピック委員会のスポーツ環境専門部会に参加し、環境保全活動を積極的に推進して行く。